

平成28年度
武田学園 事業報告書



きよらかに、凛と
学校法人 武田学園

平成28年度武田学園事業報告書

目 次

I. 法人の概要	1
1. 武田学園の教育	1
2. 沿革	2
3. 設置校及び所在地	5
4. 役員	6
5. 学生数	6
6. 教職員数	7
7. 組織概要	8
II. 事業の概要	9
1. 認証評価	9
2. 教育研究活動	9
3. 国際交流	11
4. 地域連携	12
5. キャンパス整備	13
6. キャリア形成と卒業生の進路・就職状況	13
III. 財務の概要	20
1. 財産目録	20
2. 貸借対照表	21
3. 収支計算書	22
4. 監事の監査報告書	27

I. 法人の概要

1. 武田学園の教育

建学の精神

第二次大戦後の混乱の時代にあつて故武田ミキは、日本の再建のためには「真実に徹した堅実なる女性」の育成こそが急務であると強く感じ、永年の女子教育の経験を生かし、不動の信念と堅い決意をもって、昭和 23 年に本学園を創立しました。

日本女性の持つ伝統的な礼節・慈愛・勤勉という特性を高揚・伸長し、社会風潮に流されることなく、正しく 強く 明るく 生きぬく女性を育成すること、これが本学園の建学の精神です。

学園訓

- 一、真理を究め正義に生き勤労を愛する人になりましょう。
- 一、責任感の強い逞しい実践力のある人になりましょう。
- 一、謙虚で優雅な人になりましょう。

教育方針

学園は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、建学の精神及び「心を育て 人を育てる」という建学の理念に則り、現代社会を支える学問の基礎・基本となる教養と時代の変化・発展に対応できる専門的学問を教授研究し、深い知識と高い識見と豊かな人間性を養い、もって社会の要請に応え得る人間の育成を目的とします。

教育目標

学園は、その理念・目的を踏まえつつ、それぞれの専門的な立場から「正しい判断力とたくましい実践力を身につけた」人材の養成を目指しています。

2. 沿 革

昭和23年 3月31日	広島県可部女子専門学校設立認可 設立者武田ミキ校長となる。
昭和23年 4月15日	広島県安佐郡亀山村四日市699番地（高宮中学校内）において同校開校
昭和27年 7月15日	私立学校法第31条の規定に基づき学校法人武田学園設立認可
昭和31年12月21日	広島県可部女子高等学校（全日制家政科）設置認可
昭和32年 4月8日	広島県可部女子高等学校 開校、武田ミキ校長就任
昭和37年 1月20日	可部女子短期大学（被服科入学定員40人，収容走員80人）設置認可 武田ミキ学長となる。
昭和37年 3月31日	広島県可部女子専門学校廃校
昭和37年 4月 1日	広島県安佐郡可部町大字中島1810番地において可部女子短期大学開学
昭和39年 1月17日	可部女子短期大学に食物栄養科食物専攻，栄養専攻設置認可
昭和39年 2月24日	可部女子短期大学食物栄養科に，「中学校教諭二級普通免許状（家庭）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和39年 3月31日	可部女子短期大学食物栄養科栄養専攻を栄養士養成施設として指定される。
昭和39年 4月 1日	可部女子短期大学食物栄養科開設
昭和40年 1月25日	可部女子短期大学に国文科，英文科設置認可
昭和40年 2月22日	可部女子短期大学国文科，英文科に，「中学校教諭二級普通免許状 国文科に国語，英文科に外国語（英語）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和40年 4月 1日	可部女子短期大学国文科，英文科開設
昭和41年 1月25日	広島文教女子大学文学部（国文学科，英文学科）設置認可 武田ミキ学長となる。
昭和41年 4月 1日	広島文教女子大学文学部国文学科，英文学科に，「高等学校教諭二級普通免許状，中学校教諭一級普通免許状 国文学科に国語，英文学科に外国語（英語）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和41年 4月 1日	広島県安佐郡可部町大字上原1238番地において広島文教女子大学開学
昭和41年 4月 1日	「可部女子短期大学」を「広島文教女子大学短期大学部」と校名変更
昭和42年12月28日	短期大学部食物栄養科「栄養専攻」を「食物栄養専攻」と専攻名変更
昭和44年 2月 8日	短期大学部食物栄養科食物専攻に，「中学校教諭二級普通免許状（保健）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和45年 1月21日	短期大学部に幼児教育学科設置認可
昭和45年 1月24日	短期大学部幼児教育学科を「保母」養成施設として指定される。
昭和45年 2月13日	短期大学部幼児教育学科に，「幼稚園教諭二級普通免許状」授与の資格を得させるための課程認定
昭和45年 2月26日	短期大学部の「国文科」を「国文学科」に，「英文科」を「英文学科」に，「被服科」を「服飾学科」に，「食物栄養科」を「食物栄養学科」に，学科名変更認可
昭和45年 4月 1日	短期大学部幼児教育学科開設

昭和46年 4月 1日	安佐郡可部町大字上原に広島文教女子大学附属幼稚園 開園
昭和51年 3月29日	広島文教女子大学及び広島文教女子大学短期大学部の聴講生の課程に、教員免許状授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和51年4月1日）
昭和53年 4月 1日	短期大学部服飾学科を「2級衣料管理士」養成大学として認定される（社団法人日本衣料管理協会）。
昭和56年 1月16日	文学部に初等教育学科設置認可
昭和56年 2月10日	広島文教女子大学文学部初等教育学科に、「小学校教諭一級普通免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和56年4月1日）
昭和56年 4月 1日	文学部初等教育学科開設
昭和58年11月19日	武田学園創立35周年記念式典挙行
昭和60年 2月 9日	広島文教女子大学文学部国文学科に、「高等学校教諭二級普通免許状（書道）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和60年4月1日）
昭和60年 3月26日	大韓民国全州教育大学と広島文教女子大学間における研究及び教育の協力について協定を結ぶ
昭和61年 3月18日	広島文教女子大学大学院設置認可 文学研究科国語学国文学専攻（修士課程）
昭和61年 4月 1日	広島文教女子大学大学院文学研究科国語学国文学専攻開設
昭和62年 3月18日	大学院文学研究科教育学専攻（修士課程）増設認可
昭和62年 4月 1日	大学院文学研究科教育学専攻開設 広島文教女子大学大学院文学研究科国語学国文学専攻に、「高等学校教諭一級普通免許状（国語）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和62年4月1日）
昭和63年 4月 1日	広島文教女子大学文学部初等教育学科に、小学校教諭一級普通免許状授与の資格を得させるための聴講生の課程認定（適用時期 昭和63年4月1日）
昭和63年 5月24日	中華人民共和国大連外国語学院と広島文教女子大学間における研究及び教育の協力について協定を結ぶ。
平成元年 2月14日	文学部初等教育学科に、幼稚園教諭一級普通免許状授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成元年4月1日）
平成元年 4月 1日	文学部に、社会教育主事課程設置
平成元年 4月 1日	文学部に、学芸員課程設置
平成元年 4月 1日	短期大学部「服飾学科」を「生活科学科」に名称を変更
平成 2年 2月20日	大学院文学研究科教育学専攻に、「小学校教諭専修免許状及び幼稚園教諭専修免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成2年4月1日）
平成 2年 4月 1日	短期大学部食物栄養学科食物専攻学生募集停止
平成 3年12月20日	短期大学部食物栄養学科「入学定員50人 収容定員100人」に変更認可（変更時期 平成4年4月1日）
平成 4年 4月 1日	食物栄養学科の専攻課程廃止
平成 5年 3月19日	大学院文学研究科 英米文学専攻（修士課程）増設認可 大学院文学研究科英米文学専攻に「中学校教諭専修免許状 外国語（英語）、高等学校教諭専修免許状 外国語（英語）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成5年4月1日）
平成 5年 4月 1日	大学院文学研究科英米文学専攻開設

平成 6年 4月 1日	短期大学部幼児教育学科学生募集停止
平成 7年12月22日	短期大学部専攻科栄養専攻（修業年限2年）の設置が文部省において受理される。
平成 8年 1月29日	短期大学部専攻科栄養専攻は学位授与機構が定める要件（学位規則第6条第1項）を満たす専攻科として認定される。
平成 8年 4月 1日	短期大学部専攻科栄養専攻開設
平成 8年 5月28日	短期大学部幼児教育学科を廃止
平成11年 3月19日	文学部国文学科，英文学科に「高等学校教諭一種免許状 国文学科に『国語』『書道』，英文学科に『英語』，中学校教諭一種免許状 国文学科に『国語』，英文学科に『英語』，初等教育学科に，「小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成11年4月1日）
平成11年 5月31日	4年制大学の充実を図るため「文学部国文学科，英文学科」及び「短期大学部国文学科，英文学科」の学生募集を平成12年4月から停止して，新たに「人間言語学科（入学定員120人，編入学定員10人），人間文化学科（入学定員120人，編入学定員10人），人間福祉学科（入学定員100人，編入学定員20人）」の新設を設置申請
平成11年 7月28日	新学科設置申請認可 人間言語学科 入学定員120人，編入学定員10人，収容定員500人 人間文化学科 入学定員120人，編入学定員10人，収容定員500人 人間福祉学科 入学定員100人，編入学定員20人，収容定員440人 （開設時期 平成12年4月1日）
平成11年 8月 5日	学部名の「文学部」を「人間科学部」に名称変更届出
平成11年10月29日	学部名の「文学部」を「人間科学部」に名称変更届出受理（変更時期 平成12年4月1日）
平成11年12月24日	司書教諭講習科目の相当する授業科目開設について届出受理（開設時期 平成12年4月1日）
平成12年 2月29日	人間科学部人間言語学科に「高等学校教諭一種免許状，中学校教諭一種免許状，国語コースに（国語），英語コースに（英語）」人間文化学科に「高等学校教諭一種免許状（書道）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成12年4月1日） 学部名「文学部」を「人間科学部」に名称を変更
平成12年 4月 1日	既設の文学部国文学科，英文学科（2学科は平成12年4月学生募集停止）のほか，人間科学部に，人間言語学科（入学定員120名，編入学定員10名），人間文化学科（入学定員120名，編入学定員10名），初等教育学科（入学定員80名），人間福祉学科（入学定員100名，編入学定員20名）開設。 短期大学部は，既設の国文学科，英文学科（2学科は平成12年4月学生募集停止），生活科学科，食物栄養学科となる。
平成12年12月21日	人間科学部人間福祉学科に「高等学校教諭一種免許状（福祉）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成13年4月1日）
平成13年 5月29日	短期大学部英文学科を廃止
平成14年 4月 1日	人間科学部に心理学科（入学定員70名，編入学定員10名），人間栄養学科（入学定員70名）開設 短期大学部生活科学科，食物栄養学科の学生募集を停止する。
平成14年 5月 7日	大学院文学研究科教育学専攻臨床心理学コースに「臨床心理士」受験資格に関する指定（第2種）を受ける（指定時期 平成15年4月1日，ただし協会指定運用内規により平成14年4月1日から遡及適用）。

平成14年 5月29日	短期大学部国文学科を廃止
平成15年 5月12日	短期大学部生活科学科を廃止
平成16年 4月 1日	人間科学部人間文化学科の学生募集を停止 人間言語学科（入学定員70名，編入学定員10名）に再編成 短期大学部専攻科栄養専攻の学生募集を停止
平成16年12月22日	文学部国文学科を廃止
平成17年 3月29日	人間科学部人間栄養学科に「栄養教諭一種免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成17年4月1日）
平成17年 4月 1日	大学院文学研究科の名称を「人間科学研究科」と改称
平成17年 5月16日	独立行政法人大学評価・学位授与機構へ短期大学部専攻科栄養専攻の廃止届出
平成17年 5月30日	短期大学部を廃止
平成17年 7月 6日	人間科学研究科教育学専攻収容定員の変更に伴う学則変更届出 平成18年4月1日国語学国文学専攻入学定員5名（収容定員10名），英米文学専攻入学定員5名（収容定員10名）の学生募集を停止し，教育学専攻の入学定員10名（収容定員20名），平成19年4月入学定員15名（収容定員30名）とする。
平成18年 3月31日	文学部英文学科を廃止
平成20年 4月 1日	大学院人間科学研究科人間福祉学専攻を開設
平成21年 4月 1日	人間科学部人間言語学科の学生募集停止
平成22年 4月 1日	人間科学部グローバルコミュニケーション学科（入学定員70人，編入学定員5人）を開設
平成24年 4月17日	人間科学部初等教育学科及び人間福祉学科収容定員の変更に伴う学則変更届出 平成25年4月1日初等教育学科入学定員80名（収容定員320名）を入学定員100名（収容定員400名），人間福祉学科入学定員100名（収容定員440名（編入学40名））を入学定員80名（収容定員360名（編入学40名））に変更
平成27年 3月31日	人間科学部人間言語学科を廃止

3. 設置校及び所在地

<大 学> 広島文教女子大学（広島市安佐北区可部東 1-2-1）

人間科学部（初等教育学科、人間福祉学科、心理学科、人間栄養学科、
グローバルコミュニケーション学科）

<大 学 院> 広島文教女子大学大学院（広島市安佐北区可部東 1-2-1）

人間科学研究科（教育学専攻、人間福祉学専攻）

<高等学校> 広島文教女子大学附属高等学校（広島市安佐北区可部東 1-2-3）

全日制課程普通科

<幼 稚 園> 広島文教女子大学附属幼稚園（広島市安佐北区可部東 1-1-15）

4. 役員

(平成 28 年 4 月 1 日現在、理事定数 11 名、現員 11 名、監事定数 2 名、現員 2 名)

理事 (理事長)	武田 義輝	理事 (非常勤)	友廣 和有
理事 (学長)	角重 始	理事 (非常勤)	児玉 裕志
理事 (校長)	梶原 督三	理事 (非常勤)	田中 豊實
理事 (園長)	栗屋 一枝	理事 (非常勤)	大内 良治
理事 (学園統括部長)	金本 潔	理事 (非常勤)	栗屋 充博
理事 (非常勤)	桑原 正彦	監事 (非常勤)	久保田宏温
監事 (常勤)	大越 藤夫		

5. 学生数

大学等における 3 年間の在籍状況は、次表のとおりです。 (各年度 5 月 1 日現在)

区 分	平成 26 年度			平成 27 年度			平成 28 年度		
	現員	収容 定員	充足率	現員	収容 定員	充足率	現員	収容 定員	充足率
広島文教女子大学	1,298	1, 666	0.77	1,271	1,666	0.76	1237	1,666	0.74
大 学 院	14	36	0.28	16	36	0.44	15	36	0.42
人 間 科 学 部	1,284	1,630	0.78	1,255	1,630	0.77	1222	1,630	0.75
人 間 言 語 学 科	2	—	—	—	—	—	—	—	—
グローバルコミュニケーション 学 科	128	290	0.36	131	290	0.45	126	290	0.43
初 等 教 育 学 科	495	340	1.47	488	340	1.28	495	380	1.30
人 間 福 祉 学 科	207	420	0.48	210	420	0.55	194	380	0.51
心 理 学 科	151	300	0.50	131	300	0.44	116	300	0.39
人 間 栄 養 学 科	301	280	1.13	295	280	1.05	291	280	1.04
広島文教女子大学 附 属 高 等 学 校	523	480	1.09	556	480	1.15	528	480	1.10
広島文教女子大学 附 属 幼 稚 園	158	160	0.99	165	160	1.03	147	160	0.92
計	1,979	2,306	0.87	1,992	2,306	0.86	1912	2,306	0.83

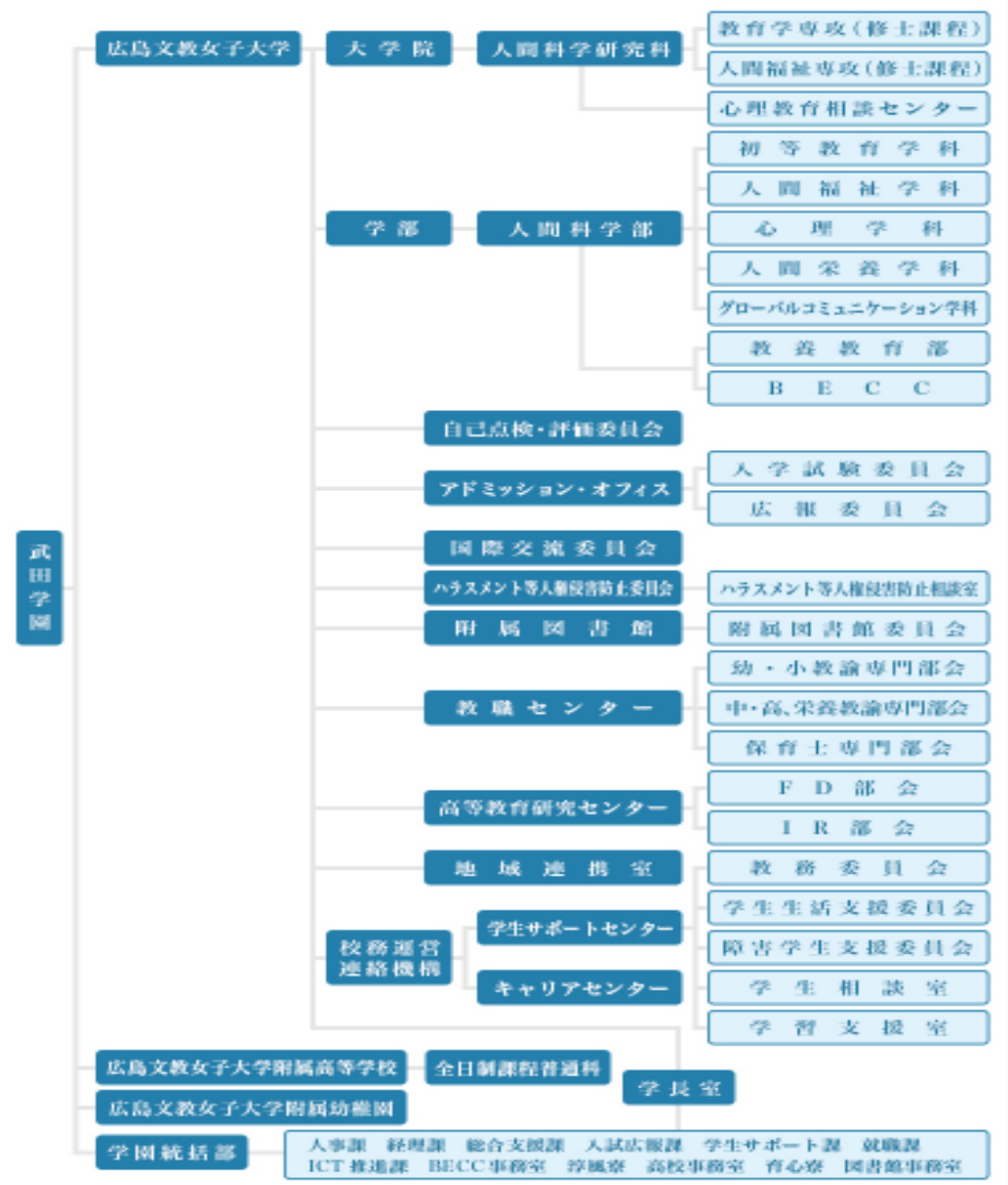
6. 教職員数

(各年度5月1日現在)

区 分	平成 26 年度			平成 27 年度			平成 28 年度		
	専 任 教 育 職 員	非常勤 教 育 職 員	専 任 事 務 職 員	専 任 教 育 職 員	非常勤 教 育 職 員	専 任 事 務 職 員	専 任 教 育 職 員	非常勤 教 育 職 員	専 任 事 務 職 員
広島文教女子大学	90	113	46	90	101	50	88	89	52
附 属 高 等 学 校	37	18	3	37	18	2	38	16	2
附 属 幼 稚 園	9	7	1	9	8	0	8	9	0
計	136	138	50	136	127	52	134	114	54

7. 組織概要（平成 28 年 4 月 1 日現在）

法人組織及び設置する各学校等の組織は、次のとおりです。



Ⅱ 事業の概要

1. 認証評価

広島文教女子大学は、平成 24 年 10 月、公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、平成 19 年に続いて「大学評価基準に適合している。」と平成 25 年 3 月 12 日付けで認定されました。

2. 教育研究活動

(1) 広島文教女子大学

① 大学ミッション

「わたしたちは、質の高い教育ときめ細かな支援で、学生一人ひとりの成長を後押しし、社会に役立つ人材を育成します。」

② 教育活動

広島文教女子大学人間科学部グローバルコミュニケーション学科の学生 9 名が国土交通省主催の「“水のめぐみ”とふれあう水の里の旅コンテスト 2016」に応募し、学生部門で最優秀賞に選出されました。観光学やマーケティングに関する学修をさらに深めるため、山川拓也講師の勧めでプロジェクトチームを立ち上げ、広島県を流れる一級河川「太田川」の上流域にあり、国の特別名勝に指定されている「三段峡」や、水陸交通の要として栄え、町家や古民家が立ち並び今も旧街道の趣が残る「可部」エリアの現地視察を行い、広島文教女子大学近隣の魅力の再発見にもつながるオリジナル旅行プランを企画しました。この取り組みは、最優秀賞になったことだけでなく、学生たちが正課授業において他の模範となるようなすばらしいアクティブ・ラーニングをしたことも評価されました。

③ 研究活動

本学の研究活動を雑誌にしたものは、9 種類で「教職センター年報」「対人コミュニケーション研究」「人間福祉研究」「広島文教教育」「広島文教食物栄養研究会誌」「広島文教女子大学研究紀要」「広島文教女子大学高等教育研究」「広島文教女子大学心理臨床研究」「文教國文学」等があります。各学科での研究、学科を超えての研究が継続的に行われていますが、本年度は、新たにグローバルコミュニケーション学科が学科独自の研究「広島文教グローバル」の創刊号を発刊しました。

(2) 広島文教女子大学附属高等学校

① 高等学校ミッション（目指す生徒像）

「われわれは、さらなる教授力の確立に努め、きよらかに凜とした知性溢れる生徒を育成します。」

② 教育方針

ア. 建学の精神に基づいた心の教育の推進

知識と知恵に裏付けされたしなやかな知性をもち、誠実さにあふれた生徒を育成します。

イ．学力の向上と進路指導

自らが学ぶことに価値を見出し、自学・自習ができ、より高い目標に挑戦する生徒を育成します。

ウ．女性として自立できる教育の実践

さまざまな課題や状況に応じたスピーディーかつ的確な判断のもとに、コミュニケーション力を発揮し、リーダーシップのとれる逞しい生徒を育成します。

③ 教育実践

ア．育心育人教育の推進

- ・人に関わるすべての場面で、他者への「敬意」を念頭に置いた振る舞いができる生徒を育成します。その表れの一つに、その場にふさわしい「あいさつ」ができることを目指します。具体的には、状況に応じて「立ち止って」品位あるあいさつができる生徒を育成します。
- ・ソシオ活動・課外活動・特別活動を強力に推進し、成功体験や失敗体験を重ねることによって、生徒一人ひとりの知恵を育むと同時に、人と自由に関わる喜びを感じることができる生徒の育成を目指します。
- ・環境保護に関心をもたせ、それを実践できる生徒を育成します。
- ・教師全員が **Team** として個々の生徒に関わり、あらゆる教育現場（授業、HR、行事、クラブ等）において心を鍛える教育を行います。

④ 進路実現をめざす学力向上への取り組み

- ア．キャリア教育を推進し、社会の仕組みを理解させる中で、生徒自身が将来活躍すべき場所を明確に意識できることを目指します。
- イ．生徒の進路目標が実現できるよう **BFW** と **BLC** を強力に推進し、自学自習ができる生徒を育成します。
- ウ．明確な将来展望を基盤にして豊富な知識を習得させ、国公立大学をはじめ難関私立大学への進路実現をめざした学力向上に取り組みます。
- エ．高大連携を強化し、広島文教女子大学との継続的な教育活動をも展開します。
- オ．**BEC C** の活用、海外語学研修修学旅行、留学生との交流等をとおして、積極的に英語を活用していく態度を育て、英語力の向上を図ります。
- カ．各教科の教職員が **FD** 活動を推進し、**Team** として生徒全員の教科学力の向上を図ります。

⑤ 女性として自立できる教育の実践（「文教フロンティアスピリット：**BFS**」の推進）

- ア．学園創設者 武田ミキ先生の教育理念を継承し、情熱と愛情に満ち溢れた「逞しい前姿」を見せる教育を実践します。
- イ．知性的で自立した女性を育てるために、「**BFS**」活動をさらに発展させ、豊か

なコミュニケーション能力と強いリーダーシップを養う教育を推進します。

(3) 広島文教女子大学附属幼稚園

① 幼稚園ミッション

「わたしたちは、モンテッソーリ教育により、園児の豊かな人生の礎となる最高の教育を行います。」

② 教育目標

心豊かで 社会性に富み 自立した子ども」を育てる

③ 教育方針

建学の精神である「心を育て 人を育てる」を柱として、一人ひとりの園児への個別的な配慮のもと、「ひとりで できた」という体験を積み重ねることにより自立を促し、3つの心「やさしい心」「すこやかな心」「つよい心」を育んでいます。

④ 教育実践

ア. モンテッソーリ教育の保育実践

クラスは今年度より満3歳児入園を実施し、年々少、年少、年中、年長の4年齢混合編成になりました。見て学び、助け合う園生活の全ての場面においてモンテッソーリ教育法を基盤として、自立と社会性を育てています。

クラスでのチャレンジタイム（モンテッソーリ教具を用いた個別の自由選択活動）を通して、選択力や集中力などを高めています。年齢別の分野（音楽・体育・絵画制作）活動においては、発達段階にあわせたモンテッソーリ教育的な情操教育をしています。

イ. こころろフレンズ（未就園児保育）

入園前（2歳児）の親子を対象に、モンテッソーリ教育を基盤として幼児の自立を援助する活動を行っています。

ウ. なかよしキッズ（預かり保育）

家庭的な雰囲気のもと、外遊びを十分取り入れた保育を行っています。

エ. 課外活動の充実

保育後の活動としてサッカー教室、英語教室、書道教室、及び、おはなし会を大学・附属高校の教員、学生等により行い、また、体育教室を外部団体により実施しています。

3. 国際交流

(1) 広島文教女子大学

協定校アメリカ合衆国オハイオ州ケント州立大学においては、秋期留学（4か月）に1名の学生が参加し、修得した18単位が本学卒業単位として認定されました。平成21年度から協定校となった、オーストラリアクイーンズランド工科大学での

一般英語研修（5週間・2月上旬～3月中旬）には15名の学生が参加し、修得した4単位が本学卒業単位として認められました。平成25年度より始まったオーストラリアメルボルンでのホテルや企業、教育機関でのインターンシップ（22日間・8月下旬～9月中旬）には、4名の学生が参加しました。平成28年度の新しい取り組みとしては、11月28～30日の3日間、本学の英語学習専用施設（BECC）の1階で、全学生に向けての「留学や国際交流に関する情報提供」、「外部海外留学奨学金制度の紹介と利用促進」および「留学経験者から留学希望者への情報提供と学生間ネットワークの構築」を目的とした「BUNKYO留学フェア2016」を行いました。

（2）広島文教女子大学附属高等学校

修学旅行の1コースとして、海外ホームステイコースを設定しており、平成27年度33名がカナダ、ブリティッシュコロンビア州ホワイトロック市で語学研修とホームステイ（約12日間）を経験しました。

また、今年度、留学生受け入れとしては、オーストラリアの生徒1名、アフガニスタンのサッカー選手団14名が来校されました。本校生徒と交流し、日本文化に触れ、終日、日本の学校体験をしました。

4. 地域連携

（1）広島文教女子大学

・地域と連携した教育・研究活動の支援

平成28年度には、地域連携協力協定を結んでいる広島市安佐北区と、島根県雲南広域連合（雲南市、奥出雲町、飯南町）をフィールドとして、学生がプランを立て実行していく力を身につける教育活動や、さまざまな地域課題の解決方法をアクティブに探る研究活動を支援しました。

また、グローバルコミュニケーション学科を中心とする学生有志が教員の指導の下で国土交通省主催「水の里の旅コンテスト」に応募し可部・三段峡を中心とした太田川流域の魅力を伝える作品で最優秀賞に選ばれるなど、新たな動きが起こっています。

さらに、NTT西日本とのタイアップによるタウンページ企画やツネインL&Rとの連携協定など産学の連携も進んでいます。

人間福祉学科では、人間福祉学会・島根ブロック大会を隣接する出雲市で開催予定することとし、雲南地域の関係者にも参加を呼びかけ、島根県で活躍している卒業生の様子を聞くことや福祉現場についての情報交換をすることができました。

広島市の補助金事業である常設オープンスペース「すずらんひろば高陽」の運営にも引き続き取り組み、地域のさまざまな団体と学生をつなぐことにより、子育て支援その他のボランティア活動も積極的に展開できるよう環境整備に努めました。

また、外部講師12人を招いて体験を聴く「人生論」など、地域のキーパーソンに来てもらい、一緒に学ぶ講座も開催しました。

(2) 広島文教女子大学附属高等学校

「ソシオ学校」(教育活動そのものが地域貢献となる活動)を平成28年度も各クラブ単位で組み込みました。各クラブで生徒を中心に企画し、地域の小学校の行事で実験や演奏の企画、地域のお祭りで茶会や演奏のおもてなし、高齢者対象にボランティア演奏会など各クラブでさまざまな取り組みを行いました。

学年ごとに日にちを設定し、日頃お世話になっている地域に貢献するため、地域清掃活動を行いました。

5. キャンパス整備

(1) 広島文教女子大学

① 大学3号館、6号館の耐震補強工事完了

大型地震による校舎の耐震化対策のため、平成28年度、大学3号館および6号館の耐震補強工事を完了しました。

② I R活動開始

学生証をICカードに切り換え、iPadを利用した出欠管理システムについて非常勤講師を含めた全教員が使用することになりました。これにより、学生の授業への出席状況の把握を容易にするとともに、出席状況を^{*}IR活動に利用しています。

※IR (institutional research) : 高等教育機関レベルの計画立案や意思決定に有効なデータの分析及び提供を行う組織的活動

(2) 広島文教女子大学附属高校

平成28年度は施設整備においては、体育館の耐震補強およびトイレの改修工事、1号館の耐震補強工事を実施しました。

また、英語交流スポットとして、専用教室であるBELS (Bunkyo English Learning Space) を新設しました。そこでは「English Only ,No Japanese」が大原則で、いつでも楽しく英語に接することができます。

(3) 広島文教女子大学附属幼稚園

セキュリティ対策として、玄関インターフォンの取り換え、駐車場(2台)と園庭(1台)に監視カメラの設置を行いました。駐車場の地盤整備を行いました。

また、近隣への騒音配慮から園庭のスピーカーの設置を改良しました。

6. キャリア形成と卒業生の進路・就職状況

(1) 広島文教女子大学

平成 29 年 3 月卒業生で就職を希望する者の就職率は 100%でした。

平成 29 年 3 月卒業の学年は、昨年に引き続いて採用選考開始時期が 4 年生の 6 月に繰り下げられました。景気の回復傾向によって採用側の求人情数及び採用者数がさらに高まる中、2 年連続の就職活動スケジュールの変更がプラスされ、採用方法や採用内定時期に変化が生じました。学生をとりまく就職環境が大きく変化した今年度は次の就職支援と指導等を主に行いました。

① 小規模大学の強みを活かした個別支援

一人ひとりに向き合う個別支援に重点を置き、きめ細かなサポートを徹底して行いました。個別面談は 3・4 年生の全員面談（前期/後期）の他、学年に関係なくキャリア・コンサルティング等の個別支援が受けられる体制を整えています。

② キャリアガイダンスの充実

これまで行ってきた年間 10 数回の就職ガイダンスに加え、3 年生対象に「金融業界講座」を新たに実施しました。リーマンショック以後、金融業界への就職者数は非常に少ない状況が続いていましたが、これを機に金融業界に興味・関心を持つ学生が増え、次年度（平成 30 年 3 月）卒業生の金融業界への就職につながるものと期待しています。

③ スタッフの能力開発

学生の支援・指導等に当たるスタッフの能力開発を強化しました。毎月の課内研修に加えて各自が自己研鑽に励んだ結果、全員が産業カウンセラー資格を取得しました。これは他大学にはない大きな強みと言えます。

今後は、個別面談等をとおして、学生が自分の将来像やそれにつながるキャリアパスを考えたり、深めたりする機会がさらに充実していくと考えられます。

(2) 広島文教女子大学附属高等学校

本校の卒業生の進路は、次の表に示すように、ほとんどが進学であります。その中でも、近年国公立大学へ進学希望・合格実績も増加しており、平成 28 年度は国公立大学には A・B コース合わせて 14 名が現役合格しました。

広島文教女子大学への進学志望者も多く、約 20%が進学しています。

平成 28 年度卒業生も希望進路に向け最後まで努力し、よく健闘しました。

本校では、進路の夢をまず大きく広げ、その実現を目指して日々の学校生活を頑張らせる指導を行っています。大学見学や大学模擬授業、附属幼稚園観察実習、一日看護体験実習、介護講習など、自分の夢を確認し、強くできる企画もしています。また、4 年制大学進学希望者には、大学入試センター試験を受験することを前提とした指導をしており、今年度卒業生の受験者は、180 名中 77 名でした。

平成29年度入試 合格状況

国公立大学

学 校 名	学 部 名	学 科 名	合格者数
群馬大学	理工	電子情報理工	1
鳥取大学	地域	農林生産	1
広島大学	法	法	1
	教育	第4類	1
		第5類	1
	理	生物科学	1
愛媛大学	法文	人文社会	1
福岡教育大学	教育	初等教育	1
神戸市外国語大学	外国語	中国	1
県立広島大学	生命環境	生命科学	1
	保健福祉	理学療法	1
広島市立大学	芸術	デザイン工芸	1
高知県立大学	看護		1
北九州市立大学	国際環境	建築デザイン	1
国公立大学合格者数合計			14

私立大学 県外

学 校 名	学 部 名	学 科 名	合格者数
東海大学	生物	生物	1
東京女子大学	現代教養	人文学科/哲学専攻	1
日本体育大学	体育	体育	1
	児童スポーツ教育		1
新潟医療福祉大学	健康科学	健康スポーツ	1
静岡産業大学	経営		1
京都橘大学	文	歴史	1
		歴史遺産	1
佛教大学	歴史	歴史文化	1
立命館大学	産業社会	現代社会専攻/子ども社会専攻	1
	理工	電気電子工	1
龍谷大学	法	法律	2
大阪体育大学	体育	健康・スポーツ	1

関西大学	文	総合人文	1
関西学院大学	教育		1
近畿大学	工	化学生命工	1
大阪観光大学	国際交流	国際交流	1
藍野大学	医療保険		1
姫路獨協大学	人間社会		1
川崎医療福祉大学	医療技術	感覚矯正学科/言語聴覚専攻	1
環太平洋大学	次世代教育	教育経営	1
徳山大学	経済	ビジネス戦略学科/スポーツマネジメント	1
西南学院大学	神	神	1
県外私立大学合格者数合計			24

私立大学 県内

学 校 名	学 部 名	学 科 名	合格者数
広島文教女子大学	人間科学	グローバルコミュニケーション	5
		初等教育	22
		人間福祉	4
		心理	7
		人間栄養	6
	小 計		44
広島文化学園大学	学芸	子ども	1
	看護	看護	4
比治山大学	現代文科	言語文化	1
		社会臨床心理	1
広島経済大学	経済	経営	1
		ビジネス情報	1
広島工業大学	工	建築工	1
広島修道大学	人文	教育	5
		人間関係	1
	法	国際政治	2
		法律	3
	商	商	1
	経済科学	経済情報	1
	人間環境	人間環境	1
	健康科学	心理	1

		健康栄養	1
広島女学院大学	国際教養	国際教養	7
	人間生活	生活デザイン	4
		管理栄養	1
広島国際学院大学	情報文化	現代社会	1
福山大学	人間文化	心理	1
安田女子大学	文	英語英米文	2
		日本文	1
	現代ビジネス	現代ビジネス	3
		国際観光ビジネス	5
	教育	児童教育	2
	看護	看護	4
	家政	生活デザイン	2
		管理栄養	3
広島国際大学	薬	薬	1
	保健医療		1
	看護	看護	1
	総合リハビリテーション	リハビリテーション/作業療法学専攻	1
		リハビリテーション/言語聴覚療法学専攻	1
	医療栄養	医療栄養	1
日赤広島看護大学	看護	看護	5
広島都市学園大学	健康科学	看護	5
		リハビリテーション/作業療法学専攻	1
県内私立大学合格者数合計			123

私立短期大学

学 校 名	学 科 名	合格者数
川崎医療短期大学	看護科	1
比治山大学短期大学部	総合生活デザイン/生活創造コース	3
	美術	1
	幼児教育	1
広島文化学園短期大学	保育	2
	コミュニティ生活	1
安田女子短期大学	保育科	1
岩国短期大学	幼児教育	2

私立短期大学合格者数合計	12
--------------	----

専門学校

学 校 名	専 攻 名	進学者数
広島高等歯科衛生士専門学校		1
広島デンタルアカデミー専門学校		2
岩国 YMCA 専門学校	保健看護	1
IGL医療福祉専門学校	口腔保健	4
浜田医療センター附属看護専門学校		2
日本航空専門学校		1
広島工業大学専門学校	音響・映像メディア学科	2
穴吹デザイン専門学校	漫画・アニメーション学科	1
	CG・ゲーム学科	2
広島酔心調理製菓専門学校	調理師科(2年)	1
広島県理容美容専門学校	美容科	2
広島美容専門学校	美容科	2
	トータルビューティー科	1
広島ビューティーアート専門学校	トータルビューティー科	2
広島医療秘書こども専門学校	医療秘書科	1
	こども総合学科	1
広島YMCA専門学校	医療事務科	2
	ホスピタリティ科	2
広島ビジネス専門学校	キャリアビジネス科	1
広島情報ビジネス専門学校	総合ビジネス科	2
小井出ファッションビューティ専門学校	ファッション・デザイン科	1
IWAD 環境福祉専門学校	リハビリテーション学科	1
安佐准看護学院		1
広島公務員専門学校	公務員科 2 年コース	2
福岡ウェディングブライダル専門学校	ブライダルコーディネーター	2
インターナショナルエアアカデミー	留学コース	1
広島障害者職業能力開発校		1
専門学校合格者数合計		42

就職

会社等名		就職者数
株式会社ブライトン		1
エステティック riri ゆめタウン広島本店		1
その他		8
就職者数合計		10

Ⅲ.財務の概要 （平成 28 年度決算状況）

1. 財産目録

財産目録(平成29年3月31日現在)			
Ⅰ 資産総額		11, 111, 148, 220 円	
内 基本財産		8, 056, 845, 559 円	
運用財産		3, 054, 302, 661 円	
収益事業用財産		－ 円	
Ⅱ 負債総額		966, 246, 425 円	
Ⅲ正味財産		10, 144, 901, 795 円	
区 分		金 額	
資産額			
1基本財産			
土地	151, 233㎡	2, 757, 131, 640 円	
建物	43, 711㎡	3, 621, 868, 169 円	
図書	251, 428冊	1, 108, 994, 631 円	
教具・校具・備品	18, 721点	185, 356, 575 円	
その他		383, 494, 544 円	
2運用財産			
現金預金		2, 414, 991, 620 円	
その他		639, 311, 041 円	
3収益事業用財産		－ 円	
資産総額		11, 111, 148, 220 円	
負債額			
1固定負債			
長期借入金		108, 150, 000 円	
退職給与引当金		408, 985, 006 円	
2流動負債			
短期借入金		10, 020, 000 円	
未払金		25, 066, 221 円	
前受金		390, 113, 060 円	
預り金		23, 912, 138 円	
負債総額		966, 246, 425 円	
正味財産(資産総額－負債総額)		10, 144, 901, 795 円	

2. 貸借対照表

貸借対照表については、次表のとおりです。

貸借対照表				
平成29年 3月31日				
(単位 円)				
資産の部				
科目	本年度末	前年度末	増	減
固定資産	(8,477,073,790)	(8,371,619,179)	(105,454,611)	
有形固定資産	< 8,186,026,091 >	< 8,075,646,836 >	< 110,379,255 >	
土地	2,886,312,172	2,886,312,172		0
建物	3,621,868,169	3,439,099,665		182,768,504
構築物	379,768,991	410,574,018	△	30,805,027
教育研究用機器備品	167,837,369	215,265,847	△	47,428,478
管理用機器備品	17,519,206	19,285,588	△	1,766,382
図書	1,108,994,631	1,099,671,457		9,323,174
車両	3,725,553	5,438,089	△	1,712,536
特定資産	< 273,500,000 >	< 273,000,000 >	< 500,000 >	
退職給与引当特定資産	220,000,000	220,000,000		0
第3号基本金引当特定資産	53,500,000	53,000,000		500,000
その他の固定資産	< 17,547,699 >	< 22,972,343 >	< △ 5,424,644 >	
電話加入権	1,828,300	1,828,300		0
施設利用権	3,162,563	3,633,374	△	470,811
ソフトウェア	9,869,066	14,558,099	△	4,689,033
出資金	728,900	715,700		13,200
長期貸付金	1,680,000	1,958,000	△	278,000
敷金	155,400	155,400		0
預託金	123,470	123,470		0
流動資産	(2,634,074,430)	(2,688,173,654)	(△ 54,099,224)	
現金預金	2,414,991,620	2,581,088,681	△	166,097,061
未収入金	194,358,817	90,615,290		103,743,527
貯蔵品	3,114,136	3,191,983	△	77,847
仮払金	124,293	228,699	△	104,406
立替金	99,080	0		99,080
前払金	21,386,484	13,049,001		8,337,483
資産の部合計	11,111,148,220	11,059,792,833		51,355,387

(単位 円)				
負債の部				
科目	本年度末	前年度末	増	減
固定負債	(517,135,006)	(512,098,375)	(5,036,631)	
長期借入金	108,150,000	118,170,000	△	10,020,000
退職給与引当金	408,985,006	393,928,375		15,056,631
流動負債	(449,111,419)	(555,988,489)	(△ 106,877,070)	
短期借入金	10,020,000	10,020,000		0
未払金	25,066,221	54,911,466	△	29,845,245
前受金	390,113,060	451,412,040	△	61,298,980
預り金	23,912,138	39,644,983	△	15,732,845
負債の部合計	966,246,425	1,068,086,864	△	101,840,439
純資産の部				
科目	本年度末	前年度末	増	減
基本金	(16,173,857,814)	(15,883,773,520)	(290,084,294)	
第1号基本金	15,950,357,814	15,643,773,520		306,584,294
第3号基本金	53,500,000	53,000,000		500,000
第4号基本金	170,000,000	187,000,000	△	17,000,000
繰越収支差額	(△ 6,028,956,019)	(△ 5,892,067,551)	(△ 136,888,468)	
翌年度繰越収支差額	△ 6,028,956,019	△ 5,892,067,551	△	136,888,468
純資産の部合計	10,144,901,795	9,991,705,969		153,195,826
負債及び純資産の部合計	11,111,148,220	11,059,792,833		51,355,387

3. 収支計算書

(1) 資金収支計算書

資金収支計算書は、次表のとおりです。

資金収支計算書									
平成28年 4月 1日 から 平成29年 3月31日 まで									
(単位 円)									
収入の部									
科 目	予 算		決 算		差 異				
学生生徒等納付金収入	(	1,591,084,000)	(	1,637,829,296)	(△	46,745,296)			
授業料収入		1,105,530,000		1,143,404,250	△	37,874,250			
入学金収入		97,200,000		97,740,000	△	540,000			
入学手続金収入		32,690,000		32,690,000		0			
実験実習料収入		18,554,000		20,342,396	△	1,788,396			
施設設備資金収入		337,110,000		343,652,650	△	6,542,650			
手数料収入	(	29,255,000)	(	25,176,310)	(	4,078,690)			
入学検定料収入		25,505,000		21,432,000		4,073,000			
試験料収入		350,000		240,000		110,000			
証明手数料収入		800,000		833,800	△	33,800			
大学入試センター試験実施手数料収入		2,600,000		2,670,510	△	70,510			
寄付金収入	(	1,730,000)	(	1,113,000)	(	617,000)			
特別寄付金収入		750,000		690,000		60,000			
一般寄付金収入		980,000		423,000		557,000			
補助金収入	(	600,760,000)	(	599,127,250)	(	1,632,750)			
国庫補助金収入		302,710,000		279,088,000		23,622,000			
地方公共団体補助金収入		298,050,000		320,039,250	△	21,989,250			
資産売却収入	(	0)	(	0)	(	0)			
付随事業・収益事業収入	(	171,086,940)	(	138,253,000)	(	32,833,940)			
補助活動収入		168,086,940		136,873,000		31,213,940			
受託事業収入		1,200,000		0		1,200,000			
免許状更新講習料収入		1,800,000		1,380,000		420,000			
受取利息・配当金収入	(	6,792,506)	(	6,517,901)	(	274,605)			
第3号基本金引当特定資産運用収入		0		159,118	△	159,118			
その他の受取利息・配当金収入		6,792,506		6,358,783		433,723			
雑収入	(	81,275,699)	(	98,942,290)	(△	17,666,591)			
施設設備利用料収入		900,000		672,726		227,274			
地代収入		748,740		745,088		3,652			
私立大学退職金財団交付金収入		27,576,000		46,034,439	△	18,458,439			
広島県私学振興財団等交付金収入		15,300,000		16,503,721	△	1,203,721			
廃品売却収入		50,000		94,189	△	44,189			
研究関連収入		690,000		915,000	△	225,000			
損害保険金収入		3,593,959		3,593,959		0			
その他の雑収入		32,397,000		30,383,168		2,013,832			
過年度修正収入		20,000		0		20,000			
借入金等収入	(	0)	(	0)	(	0)			
前受金収入	(	552,668,500)	(	390,113,060)	(	162,555,440)			
授業料前受金収入		251,869,000		187,320,000		64,549,000			
入学金前受金収入		168,330,000		93,485,000		74,845,000			
入学手続金前受金収入		40,700,000		32,690,000		8,010,000			
施設設備資金前受金収入		84,745,000		66,140,000		18,605,000			
補助活動前受金収入		6,900,000		10,337,560	△	3,437,560			
その他の雑収入前受金収入		124,500		140,500	△	16,000			
その他の収入	(	95,893,290)	(	92,687,576)	(	3,205,714)			
前期未収入金収入		90,615,290		90,615,290		0			
長期貸付金回収収入		278,000		278,000		0			
短期貸付金回収収入		600,000		600,000		0			
預り金受入収入		3,500,000		0		3,500,000			
仮払金回収収入		0		104,406	△	104,406			
立替金回収収入		900,000		1,089,880	△	189,880			
資金収入調整勘定	(△	551,412,040)	(△	646,290,857)	(	94,878,817)			
期末未収入金	△	100,000,000	△	194,878,817		94,878,817			
前期未前受金	△	451,412,040	△	451,412,040		0			
前年度繰越支払資金	(	2,581,088,681)	(	2,581,088,681)					
収入の部合計		5,160,222,576		4,924,557,507		235,665,069			

				(単位 円)
支出の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費支出	(1,497,149,000)	(1,495,432,089)	(1,716,911)	
教員人件費支出	1,080,329,000	1,080,281,866	47,134	
職員人件費支出	325,820,000	330,498,887	△ 4,678,887	
役員報酬支出	20,000,000	19,403,262	596,738	
退職金支出	71,000,000	65,248,074	5,751,926	
教育研究経費支出	(371,000,000)	(340,752,507)	(30,247,493)	
旅費交通費支出	24,050,000	22,159,950	1,890,050	
福利費支出	180,000	325,720	△ 145,720	
消耗品費支出	50,700,000	73,688,498	△ 22,988,498	
燃料費支出	710,000	914,511	△ 204,511	
印刷製本費支出	16,650,000	12,756,241	3,893,759	
光熱水費支出	61,600,000	54,756,211	6,843,789	
修繕費支出	26,350,000	29,598,102	△ 3,248,102	
通信運搬費支出	8,700,000	7,746,548	953,452	
保険料支出	6,050,000	3,834,979	2,215,021	
公租公課支出	500,000	542,878	△ 42,878	
負担金支出	48,700,000	24,715,579	23,984,421	
会議費支出	210,000	185,144	24,856	
奨学費支出	84,970,000	69,768,759	15,201,241	
保健衛生費支出	10,900,000	12,916,568	△ 2,016,568	
賃借料支出	12,590,000	8,891,118	3,698,882	
講師謝礼支出	3,130,000	2,749,948	380,052	
海外研修費支出	4,000,000	3,929,904	70,096	
雑費支出	11,010,000	11,271,849	△ 261,849	
管理経費支出	(275,300,000)	(263,218,396)	(12,081,604)	
報償費支出	6,300,000	9,548,025	△ 3,248,025	
旅費交通費支出	21,990,000	14,332,412	7,657,588	
交際費支出	1,200,000	740,391	459,609	
福利費支出	3,740,000	4,338,644	△ 598,644	
消耗品費支出	6,800,000	9,703,447	△ 2,903,447	
燃料費支出	63,000	0	63,000	
印刷製本費支出	17,350,000	17,406,557	△ 56,557	
光熱水費支出	1,010,000	920,433	89,567	
修繕費支出	2,480,000	1,086,257	1,393,743	
通信運搬費支出	4,820,000	3,656,228	1,163,772	
保険料支出	230,000	153,309	76,691	
公租公課支出	4,700,000	4,031,872	668,128	
負担金支出	12,300,000	6,693,823	5,606,177	
会議費支出	40,000	25,620	14,380	
広告費支出	49,100,000	46,850,115	2,249,885	
保健衛生費支出	263,000	264,102	△ 1,102	
賃借料支出	5,120,000	6,202,125	△ 1,082,125	
講師謝礼支出	70,000	64,591	5,409	
雑費支出	1,700,000	1,872,171	△ 172,171	
補助活動仕入支出	135,974,000	135,186,274	787,726	
私立大学等経常費補助金返還金支出	50,000	142,000	△ 92,000	
借入金等利息支出	(1,898,788)	(1,898,788)	(0)	
借入金利息支出	1,898,788	1,898,788	0	
借入金等返済支出	(10,020,000)	(10,020,000)	(0)	
借入金返済支出	10,020,000	10,020,000	0	
施設関係支出	(355,500,000)	(318,700,580)	(36,799,420)	
建物支出	350,000,000	317,750,180	32,249,820	
構築物支出	5,500,000	950,400	4,549,600	
設備関係支出	(47,400,000)	(23,325,794)	(24,074,206)	
教育研究用機器備品支出	34,500,000	11,114,063	23,385,937	
管理用機器備品支出	2,600,000	2,265,989	334,011	
図書支出	10,300,000	8,120,542	2,179,458	
ソフトウェア支出	0	1,825,200	△ 1,825,200	
資産運用支出	(525,000)	(513,200)	(11,800)	
出資金支出	25,000	13,200	11,800	

				(単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異				
第3号基本金引当特定資産繰入支出	500,000	500,000	0				
その他の支出	(61,961,466)	(93,819,755)	(△ 31,858,289)				
短期貸付金支払支出	0	600,000	△ 600,000				
預託金支出	50,000	0	50,000				
前期末未払金支払支出	54,911,466	54,911,466	0				
前払金支払支出	5,000,000	21,386,484	△ 16,386,484				
立替金支払支出	0	1,188,960	△ 1,188,960				
仮払金支払支出	2,000,000	0	2,000,000				
預り金支払支出	0	15,732,845	△ 15,732,845				
(予備費)	(25,000,000)						
資金支出調整勘定	(△ 53,049,001)	(△ 38,115,222)	(△ 14,933,779)				
期未未払金	△ 40,000,000	△ 25,066,221	△ 14,933,779				
前期末前払金	△ 13,049,001	△ 13,049,001	0				
翌年度繰越支払資金	(2,567,517,323)	(2,414,991,620)	(152,525,703)				
支出の部合計	5,160,222,576	4,924,557,507	235,665,069				

(2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、次表のとおりです。

事業活動収支計算書					
平成28年 4月 1日 から					
平成29年 3月31日 まで					
(単位 円)					
事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
	学生生徒等納付金	(1,591,084,000)	(1,637,829,296)	(△)	46,745,296)
	授業料	1,105,530,000	1,143,404,250	△	37,874,250
	入学金	97,200,000	97,740,000	△	540,000
	入学手続金	32,690,000	32,690,000		0
	実験実習料	18,554,000	20,342,396	△	1,788,396
	施設設備資金	337,110,000	343,652,650	△	6,542,650
	手数料	(29,255,000)	(25,176,310)	(△)	4,078,690)
	入学検定料	25,505,000	21,432,000		4,073,000
	試験料	350,000	240,000		110,000
	証明手数料	800,000	833,800	△	33,800
	大学入試センター試験実施手数料	2,600,000	2,670,510	△	70,510
	寄付金	(2,330,000)	(1,113,000)	(△)	1,217,000)
	特別寄付金	750,000	690,000		60,000
	一般寄付金	980,000	423,000		557,000
	現物寄付	600,000	0		600,000
	経常費等補助金	(415,260,000)	(456,947,250)	(△)	41,687,250)
	国庫補助金	167,710,000	195,917,000	△	28,207,000
	地方公共団体補助金	247,550,000	261,030,250	△	13,480,250
	付随事業収入	(171,086,940)	(138,253,000)	(△)	32,833,940)
	補助活動収入	168,086,940	136,873,000		31,213,940
	受託事業収入	1,200,000	0		1,200,000
	免許状更新講習料収入	1,800,000	1,380,000		420,000
	雑収入	(81,255,699)	(98,942,290)	(△)	17,686,591)
	施設設備利用料	900,000	672,726		227,274
	地代	748,740	745,088		3,652
	私立大学退職金財団交付金	27,576,000	46,034,439	△	18,458,439
	広島県私学振興財団等交付金	15,300,000	16,503,721	△	1,203,721
	廃品売却収入	50,000	94,189	△	44,189
	研究関連収入	690,000	915,000	△	225,000
	損害保険金	3,593,959	3,593,959		0
	その他の雑収入	32,397,000	30,383,168		2,013,832
	教育活動収入計	2,290,271,639	2,358,261,146	△	67,989,507

				(単位 円)			
	科 目	予 算		決 算		差 異	
		(	)	(	)	(	)
事業活動支出の部 教育活動収支	人件費	(	1,483,649,000)	(	1,510,488,720)	(	△ 26,839,720)
	教員人件費		1,080,329,000		1,080,281,866		47,134
	職員人件費		325,820,000		330,498,887		△ 4,678,887
	役員報酬		20,000,000		19,403,262		596,738
	退職金		27,000,000		28,844,146		△ 1,844,146
	退職給与引当金繰入額		30,500,000		51,460,559		△ 20,960,559
	教育研究経費	(	612,230,860)	(	570,614,908)	(	△ 41,615,952)
	旅費交通費		24,050,000		22,159,950		1,890,050
	福利費		180,000		325,720		△ 145,720
	消耗品費		50,700,000		73,491,884		△ 22,791,884
	燃料費		710,000		914,511		△ 204,511
	印刷製本費		16,650,000		12,756,241		3,893,759
	光熱水費		61,600,000		54,756,211		6,843,789
	修繕費		26,350,000		29,598,102		△ 3,248,102
	通信運搬費		8,700,000		7,755,919		944,081
	保険料		6,050,000		3,834,979		2,215,021
	公租公課		500,000		542,878		△ 42,878
	負担金		48,700,000		24,715,579		23,984,421
	会議費		210,000		185,144		24,856
	奨学費		84,970,000		69,768,759		15,201,241
	保健衛生費		10,900,000		12,916,568		△ 2,016,568
	賃借料		12,590,000		8,891,118		3,698,882
	講師謝礼		3,130,000		2,749,948		380,052
	海外研修費		4,000,000		3,929,904		70,096
	減価償却額		241,230,860		230,049,644		11,181,216
	雑費		11,010,000		11,271,849		△ 261,849
	管理経費	(	297,911,312)	(	286,094,798)	(	△ 11,816,514)
	報償費		6,300,000		9,548,025		△ 3,248,025
	旅費交通費		21,990,000		14,332,412		7,657,588
	交際費		1,200,000		740,391		459,609
	福利費		3,740,000		4,338,644		△ 598,644
	消耗品費		6,800,000		9,739,447		△ 2,939,447
	燃料費		63,000		0		63,000
	印刷製本費		17,350,000		17,406,557		△ 56,557
	光熱水費		1,010,000		920,433		89,567
	修繕費		2,480,000		1,086,257		1,393,743
	通信運搬費		4,820,000		3,706,667		1,113,333
	保険料		230,000		153,309		76,691
	公租公課		4,700,000		4,032,472		667,528
	負担金		12,300,000		6,693,823		5,606,177
	会議費		40,000		25,620		14,380
	広告費		49,100,000		47,086,203		2,013,797
	保健衛生費		263,000		264,102		△ 1,102
	賃借料		5,120,000		6,202,125		△ 1,082,125
	講師謝礼		70,000		64,591		5,409
	雑費		1,700,000		1,872,171		△ 172,171
	補助活動収入原価		135,974,000		135,128,237		845,763
	減価償却額		22,611,312		22,611,312		0
	私立大学等経常費補助金返還金		50,000		142,000		△ 92,000
	徴収不能額等	(	0)	(	520,000)	(	△ 520,000)
	徴収不能引当金繰入額		0		520,000		△ 520,000
	教育活動支出計		2,393,791,172		2,367,718,426		26,072,746
	教育活動収支差額	△	103,519,533	△	9,457,280	△	94,062,253

					(単位 円)
教育活動収入の部	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	(6,792,506)	(6,517,901)	(274,605)
		第3号基本金引当特定資産運用収入	0	159,118	△ 159,118
		その他の受取利息・配当金	6,792,506	6,358,783	433,723
		その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)
		教育活動外収入計	6,792,506	6,517,901	274,605
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	(1,898,788)	(1,898,788)	(0)
		借入金利息	1,898,788	1,898,788	0
		その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)
		教育活動外支出計	1,898,788	1,898,788	0
		教育活動外収支差額	4,893,718	4,619,113	274,605
		経常収支差額	△ 98,625,815	△ 4,838,167	△ 93,787,648

					(単位 円)
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	(0)	(0)	(0)
		その他の特別収入	(185,520,000)	(158,034,142)	(27,485,858)
		現物寄付	0	15,854,142	△ 15,854,142
		施設設備補助金	185,500,000	142,180,000	43,320,000
		過年度修正額	20,000	0	20,000
		特別収入計	185,520,000	158,034,142	27,485,858
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	(1,000,050)	(149)	(999,901)
		施設処分差額	500,005	1	500,004
		設備除却差額	500,045	148	499,897
		その他の特別支出	(0)	(0)	(0)
		特別支出計	1,000,050	149	999,901
		特別収支差額	184,519,950	158,033,993	26,485,957
		(予備費)	(25,000,000)		25,000,000
		基本金組入前当年度収支差額	60,894,135	153,195,826	△ 92,301,691
		基本金組入額合計	△ 360,000,000	△ 307,084,294	△ 52,915,706
		当年度収支差額	△ 299,105,865	△ 153,888,468	△ 145,217,397
		前年度繰越収支差額	△ 5,969,155,933	△ 5,892,067,551	△ 77,088,382
		基本金取崩額	0	17,000,000	△ 17,000,000
		翌年度繰越収支差額	△ 6,268,261,798	△ 6,028,956,019	△ 239,305,779
		(参考)			
		事業活動収入計	2,482,584,145	2,522,813,189	△ 40,229,044
		事業活動支出計	2,421,690,010	2,369,617,363	52,072,647

監 事 監 査 報 告 書

平成 29 年 5 月 16 日

学校法人 武 田 学 園

理 事 会 御 中

評 議 員 会 御 中

学校法人 武 田 学 園

監事 久保田 宏 温 
監事 大 哉 寿 夫 

私たちは、学校法人武田学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項及び学校法人武田学園寄附行為第 16 条の規程に従い、同学園の平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）における業務並びに財産の状況について監査を行いました。

監査にあたり、学校法人武田学園監事監査計画により理事会、評議員会及び常任理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な書類を閲覧しました。また、会計監査人の実施する会計監査に立ち会うとともに内部監査委員会と連携し、必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、学校法人武田学園の平成 28 年度における業務は適正であり、計算書類すなわち資金収支計算書（人件費支出内訳書を含む。）、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）は、当該年度末における財産の状況を適切に表示しており、学校法人の業務又は財産に関し、不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上